

長柄上地区のバス停新設

桜山トンネル早期整備



住民の安全と利便の向上めざし これからもがんばります 日本共産党

バス停の新設

川久保交差点付近など二ヶ所にバス停留所を

三浦半島中央道路の一部開通に伴い、昨年10月から逗子駅、湘南国際村間の中央道路経由便バスは、朝4本、夜4本運行されています。停留所がないため通過するだけ。これでは国際村通勤者などの「専用バス」と言っても言いすぎではありません。

長柄上地区住民の 交通不便を解消します

日本共産党は、長柄上地区住民の利便をはかるため川久保交差点付近と子の神歩道橋の中間の2ヶ所にバス停の新設を要望してきました。町と県当局は川久保交差点付近の用地確保に動き出しましたが、上下線とも設置されるのは2年後。しかも子の神歩道橋の手前は検討されていないのです。

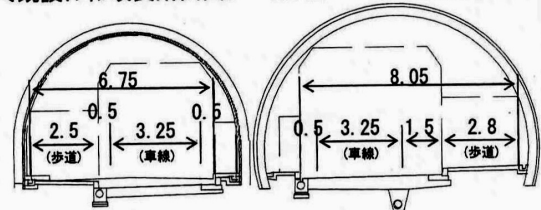
桜山トンネル

痛ましい交通事故を繰り返させない

平成4年、桜山トンネルの拡幅改修を求める請願が長柄の二町内会から提出されて14年。ようやく既存のトンネルの西側に、新たなトンネルを設置するための準備工事が始まりました。この間、平成13年8月に自転車でトンネル内を通行していた高校生が車にはねられ、死亡する痛ましい事故も起こりました。この事故に対する行政の責任は重大です。

日本共産党は、遅れて進まない状況を打開するために「尊い生命の犠牲を無にしてはいけません。早期実現を県に要求しよう」と各会派によびかけ、県への意見書の取りまとめに努力するなど促進をめざして力を尽くしてきました。

<既設トンネル改良断面図> <新設トンネル断面図>



既設トンネルは車道6m、歩道(両側)90cmと狭く、歩行者の安全に問題がありましたが、新しい歩道は拡幅されます。

上下線分離のメガネ式トンネル 車イスが交差できる拡幅された歩道設置へ

今年、葉山側から逗子方面へ向かうトンネルを掘削するための準備が行われ、来年度からトンネルを掘る工事に入ります。新設トンネルの供用開始が21年度、並行して既存トンネルの改良を行ない、22年度に完成の予定です。トンネル内の車道・歩道の幅は下図のように広くなります。予定どおりに完成するように引き続き努力する決意です。



新設トンネルの上部を保護するための準備工事(逗子側)



川久保交差点付近に設置。さらに子の神歩道橋の中間にも1ヶ所の設置に取り組みます

日本共産党

住民参加で「交通計画」をつくり、交通弱者をなくします